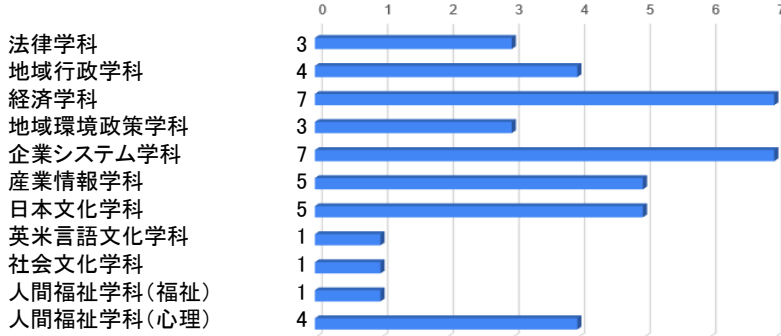


「沖縄国際大学[OB・OG向け]卒業生追跡調査(2021年度卒業生対象)」回答結果

2021年度卒業生のうち、2025年度「企業懇談会」案内企業に在籍の可能性のある者(2021年度本学卒業生内定情報に基づく)
 依頼卒業生数:117 回答数:41

Q1.あなたの卒業した学科



Q2.あなたの性別

女性	15
男性	25
無回答	1

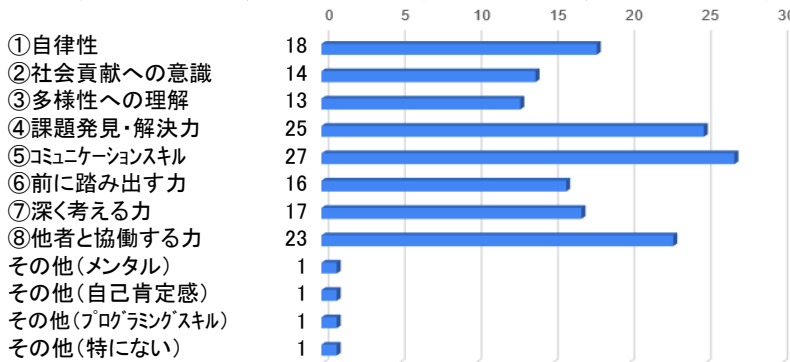
Q3-1.あなたの就職先

①沖縄県内	40
②沖縄県外の国内	1 茨城県(入社時)→千葉県(現在)
③海外・その他	0

Q3-2.あなたの現在の勤務先について

①卒業時の就職先と同じ	40
②卒業時の就職先から転職した	0
③卒業後に就職した	1

Q4-1. 卒業時と比べて成長したと感じる資質は何ですか？成長したと考える資質を選択してください。(複数選択可)



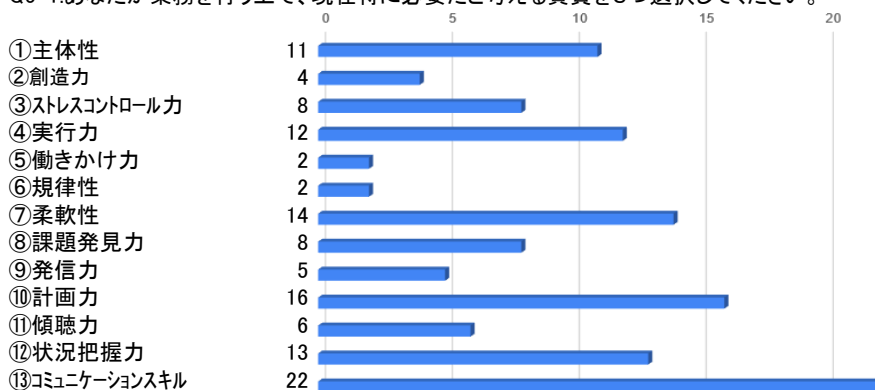
Q4-2. Q4-1で回答した内容を踏まえ、なぜ、卒業時と比べてあなたの能力が変化したと思いますか？

(成長や変化の要因に関するエピソード、大学時代の学びとの関連性、変化がなかった理由、どのような基準や視点で、成長や変化を評価したのか等の視点を参考に)

受け身では業務が円滑に進まないため、主体的に動く姿勢が自然と身につきました。 また、業務に携わる上で勤務先が養われ、課題の発見力や解決力が向上したと感じています。(前問回答④・⑥)
社風がそうさせたのだと思います。一年目から手を挙げれば何でもチャレンジさせてくれる会社なので、人事担当と本業であるコンサルを兼任をするほか、顧客相手にセミナーをしたりと様々な経験をすることができました。(前問回答②・④～⑦)
学生時代は自分自身受動的なことが多かったし、周囲と問題を解決するということが少なかった印象。社会に出て、目標設定や他者とコミュニケーションを取りながら業務を進めることが多くなり自発的に課題を見つけ考えながら解決することが増えたと思うため。(前問回答①・④・⑤・⑦・⑧)
仕事の責任の重さを痛感したり、大きい案件を経験できていたから(前問回答④・⑤・⑥・⑧)
お客様との商談の際に、ヒヤリングをしながらの商品提案をする話し方を覚え、販売に繋がったという経験から。(前問回答⑤・⑧)
変化したと感じている点がない為、解答を控えさせていただきます。(前問回答その他(特にない))
仕事の責任感が成長させてくれました。(前問回答⑥・その他(メンタル))
現在メガネ屋の店長として管理職を経験した上で、何に対しても課題発見が求められ、それに対する成果を考えるようになった。 また自分は自分という生き方では一緒に働く同僚や部下との関係性を築いていくのは難しいというのを身を持って実感することができているため。大学時代と比べ他者への働きかけ方が大きく成長したと思う(前問回答①・④・⑧)
視野を広く持ち、協力しながらすることが必要(前問回答①・④・⑤・⑦・⑧)
大学在学中は将来のこと何も考えてなかったが、社会を通して現実を見ることで、これから先のプランをより一層考える必要があると感じた。(前問回答①・⑤～⑦)
仕事やプライベートで自分で考える機会が増え、考え方も変わったと実感している。ある程度経験を積むと注意されることも少なくなるので自分で自分をチェックしないと成長に繋がらないと感じる。(前問回答④～⑧)
大学生活までは友人や他人など、人と話す事があまりなかったが、社会人になり同僚やお客様と毎日コミュニケーションを取らないと成り立たない仕事。その視点で見るとコミュニケーションスキル以外の面でも成長したと感じたから。(前問回答①・④～⑦)
社会人になってから、実際の仕事を通して課題を見つけ解決する力が大きく伸びたと感じています。大学の頃は、与えられた課題に取り組むことが多く、自分で問題の本質を見極める機会はありませんでした。でも社会人になってからは、正解のない状況で自分なりに課題を見つけ、関係者と話し合いながら解決策を考えることが増えました。(前問回答④・⑤・⑧)
アプリエンジニアとして、要件定義から設計・開発・テスト・リリースまで一連の工程を担当してきました。 一つの案件を自らの手で完結させる中で、自然とプログラミングスキルを磨きつつ、自律的に考え行動する姿勢が身につきました。(前問回答①・その他(プログラミングスキル))
研修時に質問する力をつける練習をし、どうやったら伝わるかなどを考えるようになったのでそれで成長できたと思う(前問回答①・④・⑤・⑧)
学生時代と比べて見える世界が広がったことが大きいと考えます。(前問回答②～⑤)

①自律性 お客様と接していくの中で、イレギュラーがあり自身で判断し行動することができた。
②社会貢献への知識 建物が建っていくのを視覚で認識することができるので社会貢献への知識を深めることができた。
③多様性への理解 近い年代が多いがそれぞれ考え方、価値観を持っており、それらを尊重して理解することができた。
④仕事をこなしていく中で、どうすれば上手くいくか、効率よくいくかを模索する事ができそれに対して試行錯誤をした。
⑤沢山のお客様と会社の仲間と関わっていく中で身につける事ができた。
⑦今後を見越して自分がどのように動いていかなければいけないかを考えることができた。
様々な人と仕事で関わる機会が増え、円滑なコミュニケーションを意識するようになったから (前問回答⑤)
大学時代は周りは同年代しかいなかったが、社会人になってからは日頃の業務での様々なお客様と関わりや、職場内の上司・先輩など多くの人の考え方や経験を聞くことで、大学時代よりかは幅広い視点で物事を考えられるようになった。 (前問回答③・⑤・⑦・⑧)
携わっている業務が確かに社会のなかで役立っていることを感じたため。 (前問回答②)
チーフ業務や新人育成などを経験して、自身や他者のキャパシティ管理をしながら、後輩の課題に気づき、いち早くキャッチアップして解決に向けて実行していくという、組織における自律性、課題発見・解決力がより身に付いたと感じます。また業務上、クライアントやコンサルティング業務の方々と意見を交わすことが多いため、在学時より他社とのコミュニケーション能力が向上した実感を得ています。 (前問回答①～⑤・⑧)
私は新しく何かを始める時にまず一歩引いて頭で考え様子を見てから行動することが多くありました。しかし、入社後は現場スタッフとしてヘルプやいつもと異なる業務をする際にもお客様からは新人もベテランもヘルプも変わらず同じ1人のスタッフであると学びました。考えて行動するよりもまず行動することで体が業務を覚え、ミスが減りました。また、ミスをすることが成長へつながっていると感じています。入社前は何事もミスを恐れて挑戦を避けてきましたが、今は踏み出さないことがミスにつながると感じます。 (前問回答③～⑥・⑧)
職場では、学生時よりも圧倒的にスピードが求められるため、前に踏み出すことに遠慮がなくなりました。 (前問回答⑥)
就職し、社会人としての自覚がより強くなり、職場での役割の変化や自分自身の成長で組織に貢献したいと思うようになり、学びの姿勢や行動力が大学時と大きく変わった為。 (前問回答①・④・⑥・⑦・⑧・その他(自己肯定感))
企業に入り、社会(他企業を含め)を知ることで、選ばれるためには何をしなければいけないのが少しばかり分かるようになった。 (前問回答②・④・⑤)
「何でもまずはやってみる」と考えを持っています。嫌な案件などでもチャレンジしてみたいと思っています。 (前問回答①・③・⑥)
分からないことだらけで困った際に周囲の人に聞かなければいけない場面が多かったため。 (前問回答⑧)
社会人として、学生時代と比べて広いコミュニティの中で生活するようになったことから、思考力やスキルが深まったと感じるため。 (前問回答①～⑤・⑦・⑧)
顧客や職員と話す機会が増えてコミュニティが広がり、色々な経験ができたこと・人それぞれの考えがあることを知れたため。 (前問回答①～⑧)
卒業時は自分の事だけを考えて講義を受講したり行動をしたら課題解決できて良かったが現在は周りとコミュニケーションをとり、協力しないと解決出来ないことが多々あるので成長したと思う (前問回答⑤・⑧)
日々初対面の方を相手にお仕事しているため、これらのスキルが必要で、成長できた。 (前問回答④・⑤・⑧)
社内で比較対象が多く、向上心が上がり、失敗経験からの学びを大切にしたら (前問回答①・④・⑤・⑦・⑧)
学生の頃は先輩たちが今までこうしていたからこうするっていうのが多かったが、就職すると、新しい商品やサービスが出たり、新しいシステムに変わったり、その研修を受けるのが自分で周りに教えたりで、今までこうだったからというだけで成り立たないことに気づいた。その中で課題を見つけ、どうやったら効率よく進むかを考えて実行できるようになったから。 (前問回答④・⑦)
社会人になって責任が関わってきたから。 (前問回答①～③・⑦)
解決しなければならない問題へ直面した際、冷静に状況判断する力、自身の能力に対する仕事、活動量の推測をして今後の行動の組立ができるようになった。大学時代に培った能力として、市場調査などの活動をする際に、初対面の人に対する7Pローフに慣れていたことや、マーケティング等の知識を用いて交渉を進める事が出来た。それらは大学時代に学んだ事と関連していると思います。 (前問回答①～⑧)
バイトの頃はマニュアル通りに行動していたが、現在はその先に自分で考えて行動できるようになった (前問回答⑤・⑥・⑧)
周囲のもっている「当たり前」の考え方が急激に変化したため。学生の頃は、「サービスを受けている側」という認識が強かったが社会人になってから「サービスを提供する側」としての当たりの認識を少しずつ持ち始めた。 (前問回答①～⑧)
営業の仕事をしているが、色々な方とお話を重ねて、色々な考えがある中で、自分の中で試行錯誤したり、会社の上司や同僚の方とフィードバックを重ねながら、問題解決や課題を探しています。これは大学の講義のゼミである事柄に対して皆で話し合い、色々な課題を発見していったのが役に立っていると思っています。 (前問回答②・④)
在学時は同世代との交流が中心でしたが、実際に働くくと親世代から小さい子供まで幅広い年齢層との交流が必須となり、そこで多様性などの理解を深められたと思います (前問回答③)
学生時代の社会経験はアルバイトしかなく、基本的にお金のために働いていました。新卒で今の企業に入ってからはお金のためだけでなく、いっしょに働く仲間やお客様のことを考え頼られ喜ばれることにやりがいを感じるようになりました。 (前問回答②・⑤・⑧)
相手が何を求めるかを意識してチームで動くために、自らの立ち回りを考えて常に影響どのぐらい与えるか意識するようになった。 (前問回答①～⑧)

Q5-1.あなたが業務を行う上で、現在特に必要だと考える資質を3つ選択してください。



Q5-2. Q5-1で選択した資質について、なぜ、現在のあなたに必要なだと思いますか？
(必要だと感じたエピソードなどについてお答えください)

品質・納期・コストを意識しながらプロジェクトを進めていくのですが、私はまだ自身の業務効率から逆算してスケジュールを立てる力が十分ではなく先輩方のお力をお借りする場面が多々あります。そのため計画力の重要性を強く感じています。また、困った時周囲に相談しやすい関係性を築くために日頃から同僚上司先輩方とのコミュニケーションを大切にしています。お客様と直接会話する機会が多く、技術的な話を理解いただくにはわかりやすく伝える必要があるため、コミュニケーションスキルは業務を円滑に進める上で欠かせないスキルだと思います。(前問回答①・⑩・⑬)
案件を進める上で、計画性は必須になります。自分から計画を立てて積極的に動かないと、案件を進めることができず、手からこぼれ落ちていくからです。また学ぶ姿勢やコミュニケーションスキルがあればある程度のことはカバーできるかと思ったからです。状況把握力については、思っていた通りに案件が進まないことも多数あるので、その時その時で状況を把握し、最適な判断をすることが多いからです。(前問回答⑩・⑫・⑬)
仕事をしていて、待っていても何も仕事は来ないと感じている。なので仕事を探してそれをしっかり実行し完遂する事が大事だなと感じている。それに基本的に期限がついてくるので、優先順位をつけて進めていくことも大切だと感じているため。(前問回答①・④・⑩)
自分で考えて動かないといけないため、実行力は大事だと思う(前問回答①・④・⑩)
仕事の優先順位を決めるなどの計画性がなければ、次にやらなければならない仕事を探すことから始まり無駄な時間がかかる。(前問回答④・⑩・⑬)
人が伝えたいことを汲み取って最善の案をこちらから提案することにより、お客様に満足いただいた経験があり、お礼を言われたこともあります。(前問回答⑪～⑬)
生産性を高めないと売上や自分に対する評価も得られないからです。(前問回答⑦・⑧・⑩)
ストレスを溜めすぎて情緒が安定しない時も多々あった。また柔軟な対応ができてこそ社会で働く大人だと思うが、まだまだ柔軟性が足りない気がする。今店長として働く中で部下やお客様対応をする上で傾聴力があればトラブルを防止できるので身につけていきたいから。(前問回答③・⑦・⑪)
お客様の要望に応えられるように(前問回答⑦・⑩・⑫)
言われた仕事だけを行うのではなく、自分で考えて課題を解決する力が求められていることだと感じている(前問回答④・⑧・⑫)
とにかく実行しないと状況は変わらないと思う。また、計画力とコミュニケーションスキルは仕事を円滑に行う上で必要な要素だと感じた。(前問回答④・⑩・⑬)
自ら行動を起こさないと、仕事で成果を出せないから(前問回答①・④・⑬)
とくに柔軟性については、仕事では想定外のトラブルや急な変更が起こることも多く、そのたびに考え方や進め方を変える必要があるからです。(前問回答③・⑦・⑨)
コミュニケーションは、これまでの人生を通して課題と感じている分野です。自分の考えをまとめて言語化することや、瞬時に意見を発信することが得意ではなく、今も改善の途中にあります。そのため、会議などで積極的に発言する際に難しさを感じることがあります。(前問回答①・⑩・⑬)
仕事をしていて業務内容変更などがよくあるので状況を把握し、柔軟に対応する力が必要だなと思った(前問回答③・⑦・⑫)
人手不足とAI化、SNSがより加速している社会では今まで以上に変化のスピードが速いと感じるからです。既存のモノサービスのクオリティより、他社と差別化できる新しい取組や事業を発足し軌道に乗せることを求められており、若手にも0→1を短期間で作ることを求められているように感じているためです。自分の意見で良くも悪くも結果に責任を持つ覚悟(主体性)、考えを形にするスピード(実行力)、社外社内向けなどどんな職種でもSNSから切り離せない(「SNS」発信力)(前問回答①・④・⑨)
これから仕事が増えていく上で必ずイレギュラーなことが発生したり、壁にぶつかると思うので、事前に準備する⑩計画力、⑧課題発見力が必要になってくると考えている。またそこでいかに臨機応変に対応できる⑦柔軟性が大事だと思うから。
自分のメンタルの調整を意識することで仕事で助けを求めたり、自身で働きやすい環境を作る。(前問回答③・⑦・⑬)
外回りの営業担当としてお客様との関係性を築く為にも特にコミュニケーションスキルが必要だと感じる。その中でも聞く力が特に重要だと思う。お客様の話をしっかり聞いた上で、話の軸に沿った返答ができることがお客様の話しやすい雰囲気に関係がリネズを引き出すことができると思う。(前問回答⑦・⑩・⑬)
企業に勤めるということは、企業理念に賛同して企業に献身的であるべきと考えています。しかし我々は機械ではないため企業や同僚、顧客との関わりの中でストレスを感じることがあると思います。会社への献身として規律性、会社員として抱えたストレスマネジメント、そして会社の置かれている状況や顧客との関係性、私自身の会社での立場や求められる仕事把握する能力が大切だと思います。(前問回答③・⑥・⑫)
現職が広告文のライティングを行う業務のため、分析したデータを基に制作した広告文を、自身の言葉で提案することがとても重要になります。そのため、特に主体的に考える・つくる力を、分析力と組み合わせることで向上させるか、広告を届けるターゲットを見据えた創造力を更に発展させられるか、を常に意識して業務を行っています。最終的には制作物を監修して頂き、入稿することが目的なので、分析資料や制作意図などをまとめて、クライアントやコンサルティング業務の方々が納得するよう提案する、コミュニケーション能力も必要だと感じています。(前問回答①・②・⑬)
接客業ではお客様とのコミュニケーションはもちろんのこと、社内でのコミュニケーションも重要であると感じます。ひとつの小さなミスでも共有がなされないと同じことを別の人が繰り返したり、お客様への伝達がスタッフによって異なると大きな問題に繋がります。またベテランの方から技術を学ぶ時も積極的にコミュニケーションをとり、見て聞いて自分のものにしてきました。社内の、コミュニケーションの重要性を感じ、より積極的になるようになりました。(前問回答⑦・⑫・⑬)
状況を把握して、素早く行動、なにか壁にぶつかったら柔軟に対応の繰り返しです。(前問回答④・⑦・⑫)
営業系の仕事をしていて、部下を持ちメンバーのマネジメントが大切だと感じたため。(前問回答④・⑤・⑬)
比較的新しい事業を担当しており、創造力豊かな発想や課題がどこにあるか発見し、解決するために何をしなければならぬかを考え、それを実行に移す能力が必要とされ、また、求められるためにやっている事(やっていた事)を発信して知ってもらう事が重要だと考えるから。(前問回答②・⑧・⑨)
現在、外回りの仕事をしており必要と思った(前問回答①・⑨・⑩)
必要としている事を読み取ること、それをひとりよがりを感じ取るだけでなく相手から聞き出す力も必要だと感じたため。また、ストレスとどのように付き合うのか、それをどのように消化するかが仕事だけでなく体調に影響するためコントロールする力が必要だと感じた。(前問回答③・⑪・⑬)
現在の業務では、創造力を発揮する場面は少ないが、環境がめまぐるしく変化する現在、新たな環境に適応する柔軟性や創造力はより一層重要になると考えるため。(前問回答②・⑦・⑬)
顧客と話す仕事なので、コミュニケーション能力が必要となると感じている。周りの職員や顧客へ、自分が考えていることを発信し行動に移すことがまだできていないため。(前問回答④・⑨・⑬)
現在、業務を行う上でグループで行う事があるが何か問題、課題があった時コミュニケーションをとる事でその場の状況把握を即時にし、解決に向けた話し合いを行う必要がある。また、臨機応変に対応する柔軟性も必要だと感じる(前問回答⑦・⑫・⑬)
心が伴っていないといけないし、実行しないとも始まらないから(前問回答②～④)
部署内で問題に直面したときに、状況把握をすることで、自分の知識が役に立つ部分があり貢献できたことがあるから(前問回答⑧・⑪・⑫)
私の仕事は接客業でもあるので、お客様、職場のメンバーとコミュニケーションを取ることで、今後も利用してもらえる、困った時に同僚に助けてもらったことがあったから。また、マニュアル通りのお客様だけではないので、柔軟性も必要と考える。(前問回答⑦・⑧・⑬)
自分のやるべきことをしっかり把握して行動しないと、上手いかなくなるからです。(前問回答①・⑩・⑫)
業務上、取引先の社長など、責任者と交渉やトラブル解決の相談をすることが多いため、先方の話を聞く力、それを相手の立場と自社の立場を掛け持って解決の糸口を見つける状況判断が重要だと考えるため。(前問回答⑪～⑬)
自分1人で考えて行動してしまうと視野が狭くなってしまったり考えが偏ってしまう。色々な人の考えに触れることが自分の刺激にもなり成長につながった(前問回答①・⑤・⑫)
主体性:抽象的なお題に向き合うことが多くなり、自身で考え、行動する力がとても必要になった。実行力:決断したこと、依頼されたことを正確にやり切ることで、周囲との信頼を構築できたり、以降の仕事のしやすさにも影響があった。コミュニケーションスキル:相手と自分との認識合わせをきっちり合わせていかなければ、仕事が円滑に進まないことが多かった。(前問回答①・④・⑬)
仕事に置いて、コミュニケーションを取る仕事が多いと思うが、相手が何を求めているのか・何を伝えたいかを汲み取る事が必要になる。実際に、お客様が求めている事を違う意味で汲み取って、問題が大きくなってしまい、解決までに時間がかかってしまった事がある為(前問回答⑩・⑪・⑬)
自分以外の職員不在時におこった問題に対応する力が求められることが多いため必要と感じます(前問回答③・⑦・⑧)
時間を守る・約束を守るなど社会人として当たり前のことを遂行するためには計画を立てること、規律を守ることが非常に重要だと感じました。仕事をする上で上司・先輩や顧客から自分が何を求められているのかを把握するためにコミュニケーションを取ることが非常に大切だと感じました。(前問回答⑥・⑩・⑬)
社内事務を担当しているので各部署と調整を行ったり、業務を効率よくこなすために必要スキルだと思います。(前問回答⑧・⑩・⑬)

Q6-1.大学時代の経験で現在役に立っていることは何ですか？3つ選択してください。



Q6-2. Q6-1で選択した経験について、現在のあなたに役立っていると実感したエピソードなどについてお答えください。

就職活動で自己分析企業分析をしっかりとすることで入社後のギャップが少なかった。(前問回答③・⑪・⑭)
マーケティング授業を中心にSAをさせていただいていたこともあり、その知識や課題解決力が今の仕事に通じているなと感じます。(前問回答②・③・⑤)
授業では傾聴力といった話を聞く力を学び、共感することや相槌などを仕事でもいかせていると思う。アルバイトは接客をしていたので、お客様と関わる際の言葉などを学べたので良かったと思う。(前問回答②・⑩・⑪)
アルバイトでの社会経験は、とても大事だと思う(前問回答①・⑩・⑪)
就職活動中にさまざまな人と出会い、自己分析などを通して今までとこれからの自分について考えることができた。現在の仕事においても、自分の得意とすることを自身を持って取り組むことが出来ている。(前問回答⑨～⑪)
部活に入っていたので、共同作業には主体的に取り組むようにしている。(前問回答②・⑦・⑩)
発表などがあった時、大学の講義で多くの発表をさせて頂いたので、比較的緊張感なく自発的に発言をすることができたから。(前問回答⑤・⑥・⑪)
大学の卒業論文でロコミの影響について研究した。今の会社でロコミを強化するという話が出たときにかなり知識が役立った。またサークル活動で得た色々な土地で色々な人と関わるといのは転勤ありの働き方で新しく関係性を築くときに役立っている。(前問回答④・⑦・⑩)
人間関係を広く持つことで、紹介などいただける(前問回答②・⑩・⑪)
キャリア支援課で自己分析を手伝って頂いたおかげで、自分が本当にやりたい仕事が変わりました。自分のやりたいことをやっているので、今のところ仕事を辞めたいとか、大きな悩みは無いです。ありがとうございます。(前問回答⑩・⑪)
学校内外での活動が自分に深みを持たせると感じる。これは、今も変わらないので生涯を通していろんな経験をすることが大切だと感じた。(前問回答②・⑨・⑩)
主にアルバイトで学んだ、コミュニケーションの取り方(前問回答⑩・⑪・⑭)
学生時代のアルバイトで社会人の方とお仕事をしたり、お客様と接する中で学んだ責任感やコミュニケーションの大切さが、社会人になってからも役立っています。(前問回答④・⑩・⑪)
オブジェクト指向のプログラミングに関して、講義やゼミでの卒論で学べたことが、現在の私の技術習得の支えになっていると感じます。半年～2年で開発言語のコンバート(別の現場へのアサイン)があるため、この土台があるおかげで新たに習得するプログラミング言語の理解が速くなっている気がしています。(前問回答①・③・④)
人間関係や日々の計画を立てるためにもアルバイトは大事だと思うし、自分が納得できる職につくために就職活動は大事だと思う(前問回答④・⑩・⑪)
自己分析で一番自分と向き合った期間だったので今も役に立っている経験です。転職を考えることもありますが、もし転職をするならどんな自分を生かしたいか、なぜこの会社を選んだのか、と具体例を持って考えることができています。(前問回答⑩・⑪・⑭)
⑩アルバイトでの経験。レンタカーのアルバイトをやっていたが、会社のお金を扱う責任感と接客の大切さを知ることができた。現在アルバイトから得た責任感と真摯に向き合う姿勢が役立っている。(前問回答④・⑤・⑩)
自分の役割に責任を持つことを覚えたり、やり切ったことによる達成感と経験をえられる楽しさを知った。(前問回答②・⑦・⑩)
特に就職活動が自分の経験として今に生きているように感じる。就職活動の際は自己分析やガクチカを徹底的にやると思うが、自己分析に関しては自分はどういう人間でどのような経験がそのような自分を作っているのか、ガクチカに感じては学生時代に力を入れたことからどうゆう能力が身について、それが働いていく上でどのように活かせるのかなど、「物事を深掘りする」という点で社会人になって仕事をしていく上で多くの面で活かされていると感じる。(前問回答⑨～⑪)
講義で行った創作民話劇「鬼慶良間」&教職課程における組織運営 外部から見たとき組織がなぜ非効率な運営をしていたりグレーあるいは違法な手段に手を染めてしまうのか、またうまく行っている組織とは何なのかを考えさせられた。(前問回答②・⑤・⑩)
大学時代は文芸誌サークルを立ち上げ、学内外での自主的な創作活動に打ち込んでいました。主に自主製作本の製作・出版、書店・展示場への営業、フライヤーや宣伝文の作成などを中心に行っていたので、現職の制作・提案を主とするクリエイティブさに特に通じていると感じています。(前問回答④・⑦・⑨)
私は入社後自宅から1時間以上かかる店舗に配属されました。同期やその他の友人の中には通勤時間が長いことにストレスを感じる話をよく聞きます。しかし、私は本学まで50分程度かけて通学していたり、駐車場などのことを考え開講1時間前に大学に行って勉強したりしていました。通勤時間、距離にあまりストレスを感じず、逆に仕事へのON.OFF切り替え時間と捉えることが自然とできるようになったと思います。特に新入社員の時期は業務以外でいかにストレスを感じず生活できるかが重要であると思うので、自宅から本学に通っていたことは私にとって結果的によい経験だったと思います。(前問回答④・⑨・その他(通学時間))
相手がどんな立場で考えて話しているのか理解できるようになりました(前問回答①～③)
・大学時代の友人は現在も連絡を取ったり、遊びに行く仲で、色々な事を相談できる関係になっているため。 ・アルバイト時代に学んだ礼儀など。(前問回答⑨～⑪)
特に新規事業を行うにあたり、市場調査などのマーケティング分析を行うことがあり、大学在学中に学んでいた事が活かされていると思うから。また、卒業論文を完成させた事で、どのくらいをいつまでにやるという抽象的なスケジュール立て、完成し終わった後の達成感を味わう事ができ、最後までやり遂げる事の重要性を学べたから。そして、就職活動を行い、複数の企業を見た事で、たくさんの市場(社会)を見る事ができたから。(前問回答②・④・⑪)
ゼミ活動(前問回答②・⑤・⑩)
友人と休日遊び、仕事で落ち込んだ時などのストレス解消で役立っている(前問回答②・③・⑨)
今でも、沖国大の講義で出会った先生や企業の方々のほか、就職支援してくれた方々との繋がりがあり、最近では、出身の経済学科の講義の1コマに参加させてもらう機会をいただいた。今後も機会があれば、社会で活躍する学生たちへ自分の経験を少しでも還元したいと思う。(前問回答②・⑩・⑪)
コロナ禍であまり対面の授業はなかったが、法律を学ぶということで、思考力が上がった。授業はリモートが多かったため、学校に行かない時間が増えたこともあり、アルバイトで責任感や仕事に対しての考えを学べた。(前問回答②・⑩・⑪)
大学生時は、年齢がバラバラの人同士が触れ合う機会が非常に多く礼儀やマナーを学ぶ機会に繋がった。アルバイト先で様々なお客様を接客する事で、現在どんなお客様が来ても対応する事が出来ている。就職活動では、管理職の方々と直接会って話してできる機会だと私は捉えていて、面接に行っても物怖じ気持手を手に入れたので、現在も管理職と話しても自分の意見が言えるようになったと思う(前問回答⑨～⑪)

大学祭運営は企業の運営に近く、社会人になる前の練習になった。（前問回答①・⑧・⑨）
アルバイトで働いてお金を稼ぐという経験をしたことで、正社員として働くときにさらに責任感を持って業務を全うしなければという自覚があったから（前問回答⑨～⑪）
サークルでイベント企画を行ったり、外部の方との打ち合わせを行ったりしていて、前に出ることもあったので、窓口セールスコンテストでは、その経験を活かし、賞をもらうこともできた。また、職場の人からも周りが見えてると言ってもらえる。（前問回答②・⑦・⑩）
ゼミの先生が親身になって相談になってくれたり、色々な課題を与えてくれたことが役に立っています。（前問回答⑤・⑨・⑪）
全体を通して、主にコミュニケーションが人間関係の構築に一番重要だと実感しているためです。（前問回答②・⑨・⑩）
卒業研究は大変だったけど、忍耐力が身について仕事においてもめげずに頑張ることができている（前問回答③～⑤）
就活・インターンシップ時代に、自身で計画を立てる、調べる、決断する、行動するという取り組みが、社会に出た時に最初のブーストになってスムーズに溶け込むことができた。（前問回答⑩・⑪・⑭）
大学の場合は、県内外から多くの学生が集まる為、多くの情報が手に入る。就活の現状や講義での取り組みなど、協力して出来ることもあった為、コロナ禍ではあったが、今でも役に立ったと思うし、いい経験出来たと思う（前問回答⑨～⑪）
同期に同じ卒業生がいて、困ったときの相談にのってもらえるため（前問回答⑨・⑪・⑭）
アルバイトを通して働いてお金を貰うということに責任を果たすという使命感をおぼえました。（前問回答②・⑨・⑩）
3学年次に国内留学をしたことで、留学先の学校の授業に入るための積極性や、自立して考え、動く力がついたと感じます。（前問回答⑤・⑩・⑬）

Q7. 大学での学びや経験が今の仕事に活かされたと感じたことはありますか？そのエピソードを教えてください。

職員向けのセミナーをする際に、財務(簿記)やマーケティングの知識を活かし仕事ができるからです。入社して一から学ぶよりも理解度や成長度が早かったと自負しております。
ストレスマネジメントやマインドフルネスなど自分自身の感情コントロールを学べたので、仕事で負荷がかかってストレスを感じた時に深呼吸など学べたことをいかせた。
アルバイトで失敗して次に活かせるように自分で考えることが今の仕事にも活かせてる
学生時代に無意識に周囲とのコミュニケーションをとっていたが、その力が社内での上司とのコミュニケーションでも役に立っている。
アルバイトをしていた為、背負う責任の重大性を感じてより身が入り日々の業務に取り組むようになった。
大学で学んだExcelやWordを通して、資料を作成して職場の方に共有できたこと。
経済学部でミクロ経済学で消費の仕組みを理解したことで今の仕事の販売職での考え方の基礎になっていると思う。
マーケティング
コミュニケーション力はバイト、友人関係を通じて学ぶことができた。
大学時代に出会えた人と今も接する機会がある。
一般的に生活していると慣れない用語が出てきても、とっかかりやすい
卒論を作成するときは、根拠のはっきりしない情報をそのまま使わず、自分で調べて確認するようにしていました。
その経験から、感覚ではなくきちんと根拠をもって考える姿勢が身についたと思います。
卒論で文章の添削を多くしていただいたおかげで、言葉遣いで迷うことが少なくなっている気がします
敬語の種類などの勉強は仕事する上では大事になってるので役にたっている
社会に出てからの経験から成長できたように感じます。
大学のゼミでメールの送り方、言葉の使い方等のビジネスマナーについて学ぶことができ、それへが現在でも身についていて活かされている。
大学時代の交友関係から、自分の考えを共有することで、様々な人と意見を交換して多角的な視点を得られることを活かせてると思う。
アルバイトの経験は活きているように感じる。自分自身のアルバイトが、自分の仕事が終われば帰れるような内容だったので、どのようにしたらいかに効率良く早く終わらせられるかばかり考えていた。効率を常に考えるという点で今の仕事でも活かしている。
日本文化学科での講義や課題は文学研究を主とするレジュメ作成が中心だったため、クリエイティブな側面が強い広告文制作に、とても役立っていると感じています。特に講義や課題で学べる読解力・文章構成力は広告制作時で重要となってくる点でもあり、それらを講義内で楽しく学べるのは、日本文化学科ならではの強みだと思っています。
大学ではたくさんの沖縄についての講義などを受けて学びましたが私にとって1番影響力があったのは、やはり友人との出会いです。東京出身者の友人と出会い自分が沖縄の知らない魅力がもっともっとあると知りました。当たり前と思っていたことは、他県、他国から見ればすごく魅力があり、より知ってほしいと思うようになったのが今の会社に入るきっかけになったからです。私はお土産として紅いもたれを販売していますが『沖縄の思い出を持って帰る』と言います。ひとつのお菓子でも沖縄の魅力を伝える手段になります。沖縄の魅力を再発見させてくれた講義と友人には感謝しかありません。
地域貢献に関心があったので、それについて、さまざまな勉強をしました。コープおきなわでは、事業とは別に、利益を求めない、地域貢献活動もあるので入協して良かったなと思います。
前述の通り、マーケティング分析などは新規事業を行うにあたり、必須の知識となり日々勉強中。
経済学科で1年時に行ったグループ活動からの発表は今も仕事に活かせていると思う
資格取得、海外への語学留学。就職後も、資格取得等の自己研鑽に計画的かつ前向きに取り組む力が身についている。
法律の講義を受講したため、「この法律はどういった考えでこうあるのか」を考える機会が多かったため、思考力や根拠を考える力が増した。今の仕事でも非常に役に立っている。
沖縄国際大学で講義を受けて、沢山グループディスカッションがあったと認識していて、そのお陰でコミュニケーション力が身につく人と話す事が好きになりました。現在それが活かされ、お客様と接することを率先して行っていると理解しています
論理的思考力が特に役に立っている。
経理業務なので簿記の知識が活かされている
心理学専攻ということもあり、一つの視点から物事を判断するのではなく、多くの視点から判断することを学ぶことができた。そのおかげで、接客する時にお客様が何を求めているか、様々な視点から考えられるようになった。
一つの課題に数名で取り組む経験が活かされていると思います。
取引先の店内装飾や広告を打ち出す際などに、マーケティングの授業で習ったエピソードを話すと採用してもらった事が何度かあります。商品配置のゴールデンゾーンや、アンケートの絞り込みなど。
プログラミングを学んでいたため、業務の理解や研修のスムーズな進行に役立った
自分で講義を選ぶ、スケジュールを組むという取り組みが、社会人になってからのスケジュール管理や行動力に繋がったと感じています。
色々な学生の方とコミュニケーションを取ることが出来たので、多くのお客様と問題解決や寄り添いながら対応出来ている
物事を調べる癖がついているため、必要な正しい情報を探す能力は仕事に活かされていると思う
他者とのコミュニケーションがうまくいかない時に、その人の苦手に視点をあてて動いたり、提案することを意識しています。また、国内留学の経験から、主体性を持って上司と会話ができていると感じます。

Q8. 本学在学中に身につけたほうが良い資格や経験(アルバイト、クラブ・サークル活動、留学、ボランティア活動など)などについて、本学学生から質問されたら何と回答しますか？

SEを目指すのであれば情報処理技術者試験や、AWS、Google、Azureなどクラウド系資格を取得するのをお勧めします。また、技術動向を踏まえると、生成AIに関する技術や知識を身につけておくとも良いと思います。
簿記やFPは取得しておいて損はない資格だと思います。また教職をとっていたので、その延長で受けさせていただいた嘉数中学校でのボランティア学習指導です。
接客業は経験していた方がいと思う。 色んなお客様がいるので、それに応じた対応など身につくと思う。接客業でなくても社会経験を事前に経験できることは大きな武器になると思う。
とにかく色んな経験をして、失敗して成功体験をして学生のうちにしかできないことをしておくこと！
アルバイト(接客サービス)
教員免許取得しており、長い人生において仕事を転々とするかもしれない。次に就きそうな職の幅を広げられるような資格を取っててもいいのではないのでしょうか。あとは、サークル活動はしておいて絶対に損はしません。交友関係が広まり、他の大学の学生とも交流できる機会を得ることができます。その中で様々な役割を与えられる機会があると思うので、役職の意味を理解した上で、責任をもって務めるという経験もできると思います。バイトにも通ずるところがあります。宅建など。
絶対資格を取得した方がいいます。アルバイトも経験した方が状況判断能力とかも養えると思います。
サークル活動→色々な人との人間関係を築くことでコミュニケーション能力が身につくと思う。
留学
ほんとに自分のやりたいことを探す。「やりたい事」を優先しすぎると収入とか困るかもしれないから、“稼げる仕事で、自分がやりたい事”を探せば良いんじゃないかと思います。
生涯を通して楽しめる趣味を見つけることや興味のある業界のアルバイトをしてみる。
友人、知人、他人誰でもいいので話す機会をたくさん増やす事。話題もなんでもいい。
アルバイト(接客業)
プログラマーを目指すなら。AIを活用した開発方法に慣れておくとも良いと思います。
どこの職種でも英語は必要になってくると思うのでTOEICの勉強をするのがいいと思う
必要に感じる資格は人それぞれですが、興味があることは迷わず少しでも実行してみたい。アパレル店員、サッカークラブ、留学、旅行等。何をしている時の自分が好きなのか、自分の心が踊ることは何か自ずと見えてくると思う。その後必要と感じる資格を取るで遅くない。
アルバイトは社会見学ができるのでおすすめ。自分が今後どのように進路、ビジョンを進めていきたいのかを考えて、それにはどんな資格などが必要なか調べて取得を目指す。就活も早くから始めたいと思う。
アルバイトなど、責任がある程度生じる経験を体験すること
アルバイトはぜひ経験した方がいいます。
好きなことや大学生生活を目一杯楽しんでほしい。 学生時代の人脈や経験が社会生活を助けてくれると思います。
在学中はサークルやボランティア活動など、勉強と両立して自由に行える自己表現の場や時間が多分にあるため、それを思う存分有効活用して、自己PRやガクチカにも繋がる体験をできる限りしてほしいと思います。 また、講義や課題で苦手な点があったとしても、それを逆手にとって学びなおす力を身に付けてほしいです。そうすると、困難なことを乗り越えた達成感や、できなくても自分から学びなおす姿勢になれたことが必ず自信に繋がると考えているので、難しい課題に直面した際は、今の状況を振り返り、何をどう学びなおせば課題にコミットできるかを考えてみてほしいです。
アルバイトは行っていた方がいと思います。勉強はもちろん大事ですが社会に出て働くと言うことは、学校では学べないことがたくさんあります。 また、一度社会にでたら簡単には仕事を変えることは難しいです。 世の中には知らない職種、職業がたくさんあります。自分にあった仕事はやってみないとわからないと思います。苦手だと思っていたことが得意だったり、得意だと思っていたことが毎日続くストレスだったりするのでたくさんの職種に触れることは大事だと思います。
何か、チームで作業をする環境に身を置いた方がいと思います。
・働きたい職業が決まってい、資格などが必要な職業であれば、比較的時間のある在学中に勉強や資格を取っていた方がいと思います。 ・アルバイトはお金を稼ぐだけでなく、人間関係を築いたり、社会経験にもなるのでしといった方がいと思います。
経験値になるから色んなバイトをやってみた方がい(一つに限らずに) 友達をたくさん作った方がい(将来役に立つから)
特にない。何でもチャレンジしていいと思う。
様々な人と触れ合う機会を増やし、慣れていった方がいと思った。また、大型連休をしたいように遊ぶのも大事だと感じている。
資格や留学、部活等、なんでもいいので、少しでも興味のあることや好きなことに打ち込んでほしいです。また、それになぜそれに興味があるのか、なぜ好きなのか、それを活かして何が出来るかなど、日々の生活のなかで起こる物事に対して深く考える習慣を身につけてほしいです。
アルバイトと答える。社会に出たら、社会に溶け込むのがまず重要であり、アルバイトは手っ取り早く学ぶことができるため。
自分がなりたいものに必要な資格は、沢山持っている事に越したことはないですが若い内に取る事が必要だと思います。 なぜなら、年齢を重ねていくと資格を持ってても当然になっていきます。しかし、若い内資格があればこれが話のきっかけになったりします。 僕も毒劇物一般を話のきっかけの為に取りました。※結構先輩や上司からも褒められたりします 経験に関しては、失敗も成功もエピソード付きで沢山あると話が弾みます。このエピソード付きというのが結構重要だと思っててその時の気持ちや状況をしっかり記憶して後々話すとき失敗が悪いものでは終わらず笑い話になったりもします。
秘書検定2級以上
PCスキル、AIツールの知識など
アルバイト、クラブ・サークル活動、留学、自分の興味のあることどれでもいいけど、人と関わって何かに取り組むことをやってた方がいと思う。多少の合う合わないの人間関係があると思うけど、社会に出たらそういう場面は所々あると思うので、その人たちとどうやってやっていくかを学べる機会でもあるし、いざとなったら、辞めるという選択肢もできるのが学生のうちの特権でもあると思うので。 自分1人だけで仕事するってことは中々難しく、人の力も借りないといけないので、そういった活動を経験しとくのも大事だと思う。
アルバイト、宅建
アルバイトやサークルはもちろん、資格取得(なんでもいい)が1番重要だと考えます。なぜなら、資格を取得するという目標に対して自身で勉強の組立を行う必要があるからです。 結果、試験に合格して資格を取得するというゴールに対して自身でやるべき事、後回しにする事などをコントロールする力があると判断されます。
アルバイトで他者との関わりや自主的に動く大切さ
IT系、インフラ、Salesforceの資格。海外での活動や長期インターンの経験。
コロナ禍とかでなければ、留学とかに行き、学生の時にしか出来ないことをしてみたかったと思う。沖縄に留まらず、世界の学生の生活を見たかった。
短期間でもいいので実際に働いてみる(アルバイト)
アルバイトで社会人になる練習をするのがおすすめ！
とにかく、アルバイトやボランティア活動などで、幅広い世代、多くの人とコミュニケーションを取ることです。 仕事をする上で最も大切なのはコミュニケーションスキルだと考えるからです。

Q9. 今後の本学の教育について、期待することがあればお聞かせください。

産業情報学科に関しましては、今後はFE上位の情報処理資格取得を推進する環境があると良いと思います。個人的にはJavaやPHPだけでなく、Python、typescript、AWS など現在主流なものも学べる機会があればより実践的なスキルが身についたのではと感じています。
また、チームでの開発経験を積む環境としてGitHub を活用した授業があると、より現場に近い形で学べたのではと思います。
色々な経験をさせていただいたので、今後もその環境が継続しているといいなと思う。
ある程度の教養とマナーがあれば十分です。それ以上は求めません。
ExcelやWord関係の講義を率先して取らせてほしいですし、就職活動に関する講義や資産形成の仕方も教えた方が良いでしょう！
勉強系は、してこなかったの言う事ないですが、“投資信託”とか、“ふるさと納税制度”とか生きていく上で知ってた方が得な内容っていうのを必須項目にして教えてあげたら良いんじゃないかなと思いました。
沖縄で一番の大学になって下さい
SNS発信の効果、インスタやYouTubeのアルゴリズムについてなどのSNSマーケティング講義が共通科目にあると、学生が社会へ出た時生きる力になると思います。
今後の未来の自分を考えるセミナーなどがあってもいいと思う。
金利の話や、資産形成の話、株や投資信託の仕組みなど金融リテラシーの知識は社会人になって特に大切ななと感じるのでそういった講義を増やしてもいいように感じます。
AI、スマートフォンの普及により、文章力が弱まっている学生の増加を感じるため、改めてレジュメ作成の基礎から学べるカリキュラムがあってもいいのではと思っています。
沖縄生は上司でも部下でも親しみやすく明るいキャラクターの人材が多いと思います。
今後も勉強はもちろん様々な教育を通して、明るく素直な良い人材育成してほしいです。
これからも良い人材を社会に提供してください
卒業後、在学中に学んだ事が仕事などで活かされたと思える、教育があればいいなと思いました。
専門的な知識(色んな業界の)や社会人として身に付けておくべき基礎知識(ビジネスメール等)を学ぶ機会を設けるとともに、卒にはまらない創造力豊かな人材育成をし、社会に出て若くして活躍できる人材をたくさん輩出する事を期待致します。
社会課題への思考力、問題提起のほか、課題解決に向けたプロセスを養う学生主体型の講義が増えると良いと感じる。
思考力が高められる教育を期待しています。
私が在学してた頃のまま、学生同士が接する機会を持たせ、人前でも発表出来る機会も与えてあげると社会に出て輝ける人材になると思います
満足している
希望する授業を制限なく選択できるようにしたい(人数制限なし)
いろんな経験やいろんな方と関わりが持てることを学生のうちに出来ることで、周りを見る力、自分に何が出来るかと考える力、主体性を身につけられると思います。そういった経験が今の私の仕事にも活かされていると思うので、そういった場面をこれからも作っていったらいいと思います。
これからも頑張ってください。
学生のAIリテラシーを高めていく取り組みをしていただけると嬉しいです。
グループワークの活動があれば、自分の意見や周りの考えを共有する事できる教育制度が今後ずっと必要になると思います。
沖縄国際大学には留学生が非常に多いと感じるので、学部に関わらず留学生と交流を持ち、多文化理解に力を入れられたら良いとおもいます。